

只見川支流霧来沢流域の沢

モウガケ沢右俣右沢

1988年8月27日

L:

本名ダムで落ち合い、林道の終点に車を置き、2パーティがモウガケ沢出合まで一緒に遡行する。モウガケ沢の出合で霧来沢本流に入る鈴木・橋パーティと別れる。いよいよモウガケ沢の遡行である。

ナメと小滝を越すと、左より8m滝をかけて支沢が入り、その先にF₁10m、F₂5mと続く。いずれも右側から越えて先に進む。F₃8mは左岸を捲く。そして二俣で小休止して、鈴木パーティと無線交信を行う。

右俣に入り、すくの小滝は右岸を捲く。このあと小滝2つとF₄を越すと、その上部はナメが続く。左沢がナメとなって合流するのを見送り、先に進む。左岸から小沢が合流すると、F₅15m、F₆10×15mとナメ滝が続く。この2つの滝はいずれもナメ状で、遠くから見ると一つの滝に見える。ここはフリクションで越える。

この先もナメが続く。沢が細くなったところで遡行終了とし、尾根を越えて左沢の下降に移る。

(記・)

[タイム] 出合(8:15)→左俣出合(9:20, 10:10)→左沢出合(10:40)→遡行終了(11:35)

モウガケ沢右俣左沢

1988年8月27日

L:

やぶこぎ10分で左沢に降りる。降りたところに10m滝があり、そこから下はナメが続いている。8m滝、10m滝が続いて現われた先は、一気に傾斜を強めて落ち込んでいる。懸垂下降するにもザイルの長さが足りず、とても下れない。結局、右岸をトラバースして、尾根を下ることした。となりの小沢を越えてその下の支沢に降り、モウガケ沢本流へと下りついた。そのまま本流を下降して左俣出合へ

向かう。

[タイム] 下降開始(11:50)→モウガケ沢本流(13:10)→左俣出合(13:30)

モウガケ沢左俣

1988年8月27日

林道めざして左俣の遡行を開始。兩岸から支沢が入るが、何もない。やがて、3m、6m、20mと滝が続いて現われる。直登。このあとはナメを少し歩く。やがて沢が細くなってくる。二俣になったところで、左に見える林道めざしてやぶをこぐ。10分程のやぶこぎで林道に出た。

(記・)

[タイム] 出合(13:45)→遡行終了(14:50)→林道(15:10)

